

# 平成30年度 裁判所書記官インターンシップ 実施結果報告

平成30年9月21日(金), 岐阜地方・家庭裁判所において, 裁判所書記官インターンシップを開催しました。

昨年度に引き続き2回目の開催となりましたが, 県内外から13名の学生の皆さんに参加していただき, とても活気あふれるインターンシップとなりました。

その様子や参加者の感想などを, プログラムに沿ってお伝えします。



## 午前部

### 基調講義

#### 「裁判所と裁判所書記官 ～そのやりがいを支えるもの」

インターンシップは, 刑事首席書記官の講義からスタートしました。

そもそも裁判所は何をすることなの?

裁判所書記官は何をする仕事なの?

そして, その仕事のやりがいを支えるものは・・・?

「働くこと」を考えることによって, 今後の人生を思い描くきっかけを作ることができたのではないのでしょうか。

参加者の皆さんは, 非常に熱心に耳を傾けていました。



### 参加者の声☺

お堅いイメージがあったが, やりがいと, 社会のための仕事だと知り, カッコイイと思った

国会での速記官のようなイメージだったが, その他にも様々な役割があって驚いた

## 業務説明

続いて, 人事担当者から, 午後から実施する裁判所書記官の業務体験についての導入説明がありました。

「要領調書」「物語体」等の普段耳慣れない言葉が登場し, 難しい内容だったかと思いますが, 皆さん真剣な表情で説明を受けていました。

## 午後の部

### 業務体験 模擬裁判・調書作成

いよいよメインイベントである業務体験です。架空の事件の刑事裁判に立ち会い、担当書記官になったつもりで調書を作成します。

実際の法廷で刑事の模擬裁判を行った後、グループに分かれ、他の参加者と意見交換をしながら調書を作ってもらいました。

とても熱心に取り組んでもらえたこともあり、具体的に書記官の仕事イメージしてもらえたのではないのでしょうか。



↑ 法廷内での模擬裁判の様子



↑ 職員による講評も行いました

調書はこんな風にするんだね



### 個別懇談会

最後に、実際に働く職員との懇談会を開催しました。皆さんの笑顔が印象的でした。



#### 参加者の声☺

調書作りまで体験させてもらえて、充実していた

公判を直接見て、実際の仕事のイメージができたので、とても良かった

裁判所で働きたいという思いが強くなった

(職場の)風通しが良さそうで驚いた

短い時間ではありましたが、裁判所書記官の仕事の魅力を感じていただけたのではないかと思います。

参加者の皆さん、ありがとうございました！